

■米国：風力の PPA による卸電力価格は kWh 当たり 2 セントを下回る

金融関係情報サイトは 2019 年 10 月 7 日、米国政府が発表した風力発電に関する資料の情報として、電力購入契約（PPA）に基づく卸電力価格は 1kWh 当たり 2 セントを下回ったと報じた。エネルギー省では毎年、風力発電導入に関する資料を公表しており、導入量やコストなど最新状況を明らかにしている。2018 年を対象とした今回の資料では、2018 年も風力発電の導入量が拡大しており、特に PPA で調達する卸電力価格が低いことが注目を集め、内陸部の案件（22 件）では 0.93～1.97 セント/kWh であった。このように内陸部では風力発電電力は安価な価格で契約されている一方、同地域では太陽光が風力発電をさらに上回る勢いで価格低下が進んでおり競争は激化、その結果、両者の価格はガスコンバインド発電の燃料価格を下回る水準となっている。